

MIRAIT GROUP



# CSR REPORT 2011



# より豊かで快適な暮らしを見つめながら、 企業の社会的責任(CSR)を追求していきます。

私たちコミュニチュアは、システムの構築やネットワークの保守・運用、情報通信技術を活かした環境やエネルギー問題の解決など、総合的な社会インフラの構築を通じて社会に貢献していくことが社会的責任(CSR)であると考えております。

より豊かで快適な暮らしを目指して、つねに次の世代を見据えた新しい通信ネットワークの構築に挑戦し続け、ステークホルダーの皆様の期待に的確にお応えすることにより、企業価値を向上させ、また経済・環境・社会等の幅広い分野における責任を果たすことにより、企業の社会的責任(CSR)を追求していきます。



## 高い技術と品質を持つロナリグローバル企業として 情報通信社会の構築に挑戦し続けます。

### ロナリグローバル

- ローカル(Local: 地方)
- ナショナル(National: 国)
- リージョナル(Regional: 地域)
- グローバル(Global: 地球)

### 行動指針

- 素早い意思決定と行動で、時間を大切にします
- 時代のトレンドを先取りした資格を身につけ、プロの技術者になります
- 基本とルールを守り、安全で元気な職場を築きます
- 知恵と工夫でコストを下げ、利益を拡大させます
- 自らを変革し続け、激しい競争に勝ち残ります

### コミュニチュア キーワード



理念体系	1
目次・編集方針	2
トップメッセージ	3
会社概要・事業概要	5
ステークホルダー・財務情報	6

## 特集

### お客様満足と従業員意識を同時に高める KAIZEN活動の推進



## マネジメント

コーポレートガバナンス	9
コンプライアンス	10
統合マネジメントシステム	12
情報セキュリティマネジメントシステム	14

## 社会性報告

お客様とともに	15
協力会社とともに	23
従業員とともに	25
地域社会とともに	29

## 環境報告

環境マネジメント	32
資源の有効利用	32
地球温暖化防止	33
森林保全	35
グリーン調達	36
環境ビジネス	37
アンケート	38

### 編集方針

「CSRレポート2011」は、ステークホルダーの皆様にも  
 コミュニティアの事業活動の概要を紹介するとともに、CSR活  
 動状況についてお伝えすることを目的として発行いたします。

### 報告対象期間

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)。  
 (但し、一部2009年度の活動も含んでいます。  
 また、2011年4月以降の取り組みも一部含んでいます。)

### 報告対象範囲

コミュニティア単体の事業活動。  
 (但し、一部グループ会社の活動も掲載しています。)  
 なお、本報告書は環境保全の目的よりWebサイト上にて  
 PDFで公開させていただきます。



## ステークホルダーの皆様から信頼される 「総合エンジニアリング&サービス会社」を 目指します。

当社グループは、情報通信エンジニアリング企業として半世紀以上にわたり事業を展開してまいりました。その間、情報通信技術の発達は、私たちの暮らしやビジネス環境に大きな変革をもたらしました。

固定と移動、通信と放送の融合が進展し、ユビキタス社会の実現が目途となった今、エンジニアリング会社に対するお客様や社会の期待は大きく変化しつつあります。この変化を的確に捉え期待に応えるべく、当社グループは2010年10月に大明株式会社、株式会社東電通とともに日本を代表する「総合エンジニアリング&サービス会社」を目指し、共同持株会社「株式会

社ミライト・ホールディングス」を設立し、その傘下に入りました。

今後当社グループは、ミライトグループの一員として、従来の情報通信インフラ構築だけでなく、システムの構築やネットワークの保守・運用、情報通信技術を活かした環境やエネルギー問題の解決などに取り組む「総合エンジニアリング&サービス会社」を目指すとともに、21世紀の創造的な技術革新に取り組み、安全かつ高品質なサービスと最適なソリューションを提供し、ステークホルダーの皆様から高い満足度と信頼を得られるよう企業としての社会的責任を果たしてまいります。

## ロナリグローバル企業としての取り組み

今、情報通信分野では、次世代の多彩な通信サービスに対応できる高速・高信頼・高機能なネットワークの構築が求められています。

当社グループは、最先端の高度IP技術者の人材育成に積極的に取り組んでおり、その情報通信技術と長年にわたり国内外で通信網を築いてきたノウハウをもって、情報通信社会の構築に挑戦し続けます。

また当社グループでは、40数年前に海外展開を図って以来、世界のあらゆる地域で情報通信ネットワークのインフラ構築に貢献してきました。特にアジア・アフリカなどの開発途上国では、幅広いプロジェクトマネジメント力を活かし、多くの実績を残しています。さらに、インフラ構築のみならず技術面での人材育成においても、現地訓練を行うなど世界に誇る日本の次世代情報通信網構築技術の供与にも積極的に取り組んでいます。

## 職場を活性化させる KAIZEN活動の取り組み

当社グループ事業にとって、「安全と施工品質」はお客様の信頼を獲得するための生命線であり、その安全作業の徹底とお客様の信頼に応える施工品質の確保こそが生産性の向上につながります。そのため、KAIZEN推進本部を設置し、全社的にKAIZEN活動を推進しています。そして、こうした取り組みは、お客様満足度(CS)を高めるのみならず、その取り組みに対するプロセスや成果が職場を活性化させ、従業員に達成感をもたらす等、従業員満足度(ES)を高めることにもつながります。

当社グループでは、こうした企業文化を築くことで、お客様満足度(CS)の向上に努めてまいります。

## 環境事業への取り組み

当社グループでは、温暖化による異常気象や海面上昇、生態系の破壊など、地球規模で深刻化している環境問題について、持続可能な社会の実現に向けて太陽光発電設備の設置やアスベスト除去、新エネルギーの活用など、自然との共存を目指した環境保全ビジネスを推進しています。

また、前年度に建設した当社グループ施設には、太陽光発電設備とLED照明を導入しました。さらに、今後新たに建設する施設にも導入を計画しており、こうした環境に配慮した取り組みによって、社会への貢献に努めてまいります。



代表取締役社長

高江洲 文雄

## 会社概要

会社名	株式会社コムューチュア	代表者	代表取締役社長 高江洲 文雄
創業	1960年	従業員数	1,244名
資本金	38億400万円		(コムューチュアグループ2,847名)
本社所在地	大阪市西区江戸堀3-3-15		<2011年3月31日現在>

## 事業概要

### ●総合設備事業

事故や災害からネットワークを守る管路や機能的な道路空間と街並みをつくる共同溝などの地下設備の構築をワンストップで提供しております。また、お客様の大切な情報機器を守り、ネットワークの持続性を確保するための通信用電源設備も提供しています。



### ●ICT事業

人と企業、世界をつないでいく通信ネットワークの中核となるICT(情報通信技術)のエキスパート企業として最先端で培った高度な技術と経験を基に、お客様のニーズに合わせた最適なICTソリューションをワンストップで提供しています。



### ●通信設備事業

高度化・多様化するブロードバンドサービスを支える通信インフラを構築しています。また、大規模災害が発生したときには、通信網を速やかに復旧し、被害の拡大を最小限に抑えるなど、常に通信インフラを支えています。



### ●グローバル事業

世界のあらゆる地域で情報通信ネットワークのインフラ構築に貢献しており、特にアジア・アフリカなどの開発途上国では、幅広いプロジェクトマネジメント力を活かし、多くの実績を残しています。また、現地にて研修生を受け入れ訓練を行うなど、積極的な技術教育を推進しています。



### ●環境事業

持続可能な社会の実現に向け、太陽光発電設備の設置やエネルギーマネジメントシステムの構築、アスベストの除去、新エネルギーの活用などの事業を積極的に展開し、自信を持って次世代に引き継げる環境保全の取り組みに貢献しています。

### ●モバイル通信設備事業

無線基地局設置に関するコンサルティング・設計・施工・調整・試験・保守に至るまで、一貫した体制で実施しています。また、通信品質向上コンサルティングや次世代のモバイル・ワイヤレスシステムの構築にも積極的に取り組み、より快適で高速なモバイル通信の実現に貢献しています。



コミュニューチャのステークホルダー



お客様への主な取り組み

- コミュニューチャ独自の「KAIZEN活動」を展開し、品質の向上に努めています
- お客様に信頼・満足頂くため各種取り組みを行っています



協力会社への主な取り組み

- パートナーとしてコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築き現場力向上に取り組んでいます



従業員への主な取り組み

- 従業員が能力を最大限発揮でき、働きがいのある職場環境整備に取り組んでいます
- ワークライフバランスや教育研修の充実など、安心して良い仕事を長く続けられる環境整備に取り組んでいます



地域社会への主な取り組み

- 事業活動を通じ、災害時における復旧支援活動に取り組んでいます
- 各事業拠点における地域社会で、共に暮らしやすい環境づくりに取り組んでいます



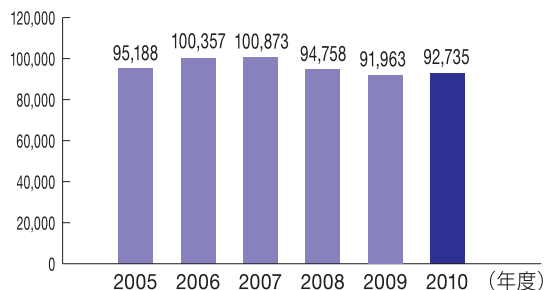
環境への主な取り組み

- 環境マネジメントシステムを推進し、自然環境の保全に努めることで、健全な地球環境を次世代に引き継ぎます
- 地球温暖化防止の取り組みとして太陽光発電設備の導入などを進めています
- 環境保全の取り組みの一環として、森林保全活動に取り組んでいます

財務情報

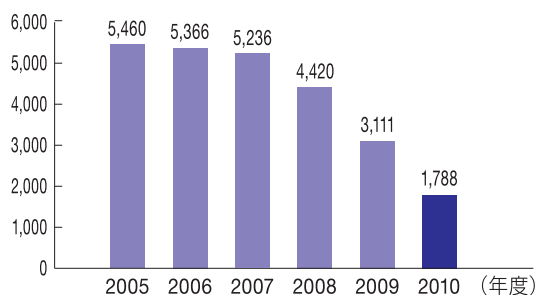
●売上高(連結)

(単位:百万円)



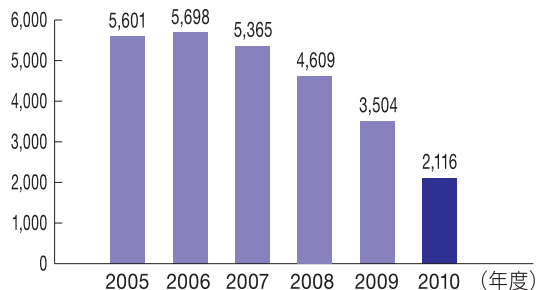
●営業利益(連結)

(単位:百万円)



●経常利益(連結)

(単位:百万円)





## 特集

# お客様満足と従業員意識を同時に高める KAIZEN活動の推進

コミュニチュアは、独自の「KAIZEN活動」を展開しています。これは、その名の通り、日々のあらゆる業務を「改善」していくことを目的としています。そのベースとなる基本施策は「成果の見える化」「人財育成」「マインド醸成」です。従業員および協力会社の一人ひとりが、強い責任感と、自己解決できる技術力・判断力を身に付け、お客様満足度の高い商品・サービスの創造に結びつけていきます。



## KAIZEN推進本部の設置

### 現場のKAIZEN・提案を積極的に推進

安全品質のさらなる向上および技術・マネジメントを含めた現場力の強化、育成を目指しトータルな運営管理を図っていくため、安全品質管理本部と技術部、総合工事推進部の一部(SKY運動など各種改善・提案活動)を一体化させKAIZEN推進本部を2009年7月に設置しました。

各種リスクに対し迅速に対応し、現場のKAIZEN・提案を積極的に推進しています。

#### ●KAIZEN推進本部 体制図



## KAIZEN活動の促進

### KAIZEN大会2010の開催

2010年6月2日にクレオ大阪西、6月10日に目黒区民センターで東西あわせて約800名の参加者が集まり『KAIZEN大会2010』を開催しました。

「KAIZEN活動が究極の安全対策につながる」と、高江洲社長より開会に際しての挨拶があり、職場で実践したKAIZEN事例について計24事例の発表を行いました。各発表に対し専門家よりコメント等を頂きKAIZENのさらなる理解が深まりました。参加者からも発表された事例を活用したいとの意見もあり、身近なKAIZEN活動のさらなる実践・促進・活性化が図れました。



KAIZEN大会2010



COLUMN

## 資材倉庫のレイアウトを改善し、入在庫のシステム化によって 倉庫環境を改善(主要全倉庫)

資材倉庫、在庫管理について全社でカイゼンの取り組みを行うため、資材業務カイゼンPT、在庫削減PTを立ち上げ、全社一体となってカイゼン活動を実施。

グループ内の各現場での倉庫、在庫管理の取り組みを共有し、継続したカイゼン活動を実施。



導入倉庫状況

- 2008年11月スタート** 資材管理を見直す、グループ全体の意識の下、資材カイゼンの取り組みを始める。
- 2009年1月** 資材カイゼン倉庫導入、第一グループスタート。
- 2010年3月** アクセス系現場の現場倉庫の資材カイゼン倉庫導入を完了。
- 2010年3月末** 導入倉庫の保有月数0.5ヶ月以下を達成。

2011年度は導入倉庫の在庫保有月数0.5ヶ月以下を定着させ、毎月0.5以下となるようカイゼン活動を継続推進していきます。

## 高品質なサービス提供と業務の効率化

### 生産管理システム「COSMOT」により、 品質向上と現場業務の効率化を実現しました。

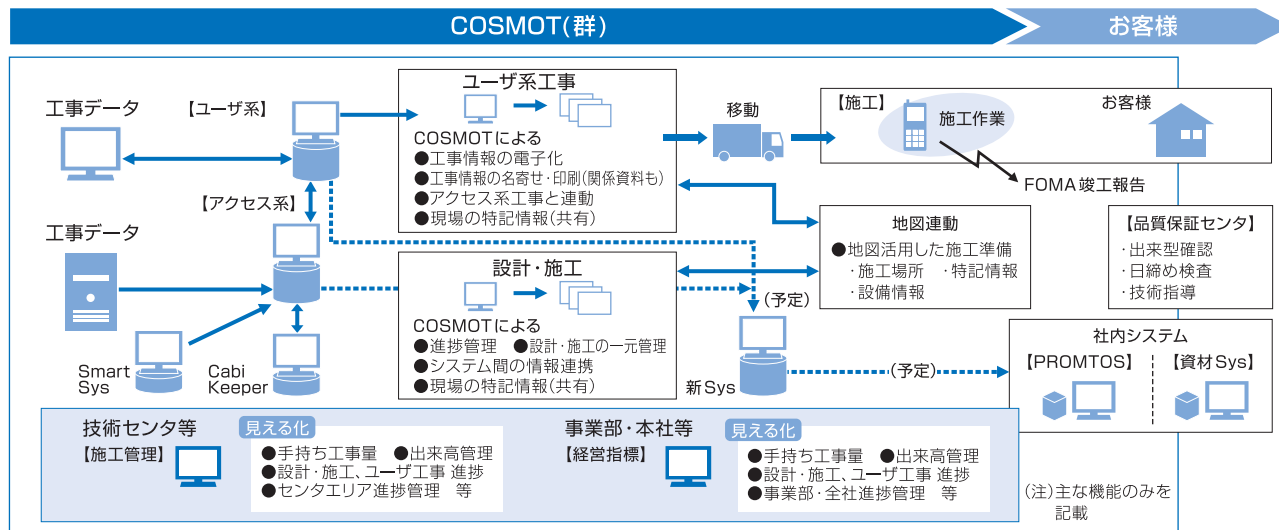
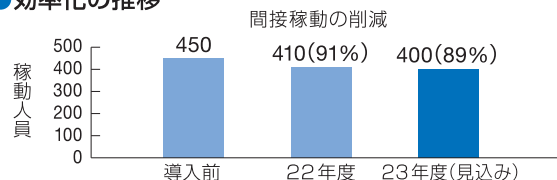
COSMOTは情報通信設備工事におけるアクセス系・ユーザ系工事の受注から完成までを一体として情報を連携し品質向上及びコスト削減を目的とした、総合的な機能を備えたマネジメントシステムです。これまでユーザ系工事、アクセス系工事を区分けして捉えがちな情報通信設備工事において一元的な進捗管理が可能となったほか、蓄積した現場情報を活用して手戻りの抑止やスムーズな施工で、

お客様納期をはじめとした施工品質の向上が図れました。

また、COSMOTの活用により竣工業務の一部について拠点集約が可能となりエリアフリーによる効率化を実現しました。

そのほか工事情報の地図表示や瞬時に工事量を把握できるなど、現場をサポートする機能も充実しています。

#### ●効率化の推移



## VOICE 従業員の声

### COSMOTの運用により、きめ細かな管理が可能になりました。

COSMOTの導入によりアクセス、ユーザを通して工事情報が把握でき、お客様や現場からの問い合わせに即答が可能になりました。また、センタ内では作業者が個々に保管していた書類が共有でき、移動や書類を探す手間が大幅に減りました。そのほか工事

設計図の閲覧や、地図上で工事場所や設備状況などを把握できるのも非常に便利な機能です。

これまで手作業に頼っていた手持ち工事の把握や当月の出来高なども自在に表示でき、きめ細かな管理が可能になりました。



姫路営業所  
若林 真幸 課長(向かって左)  
中川 恵太 主任(向かって右)

# コーポレートガバナンス

## 活動の POINT

・経営状況の健全性と透明性の向上を迫及したコーポレートガバナンスに取り組んでいます。

### コーポレートガバナンス強化への取り組み

#### コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は企業価値の継続的な向上を目指す中で、企業倫理に基づく社会的責任を持った経営の重要性を認識し、監査機能とディスクロージャーの充実ならびにコンプライアンスの強化などにより、経営状況の健全性と透明性の維持向上を追求したコーポレートガバナンスに取り組んでいます。

#### コーポレートガバナンス体制

最高意思決定機関であるとともに業務執行状況を監督する最高機関である取締役会は10名で構成され、定例取締役会と必要に応じて臨時取締役会を開催し、経営の基本方針、法令または定款で定められた事項や経営に関する事項について意思決定を行っています。

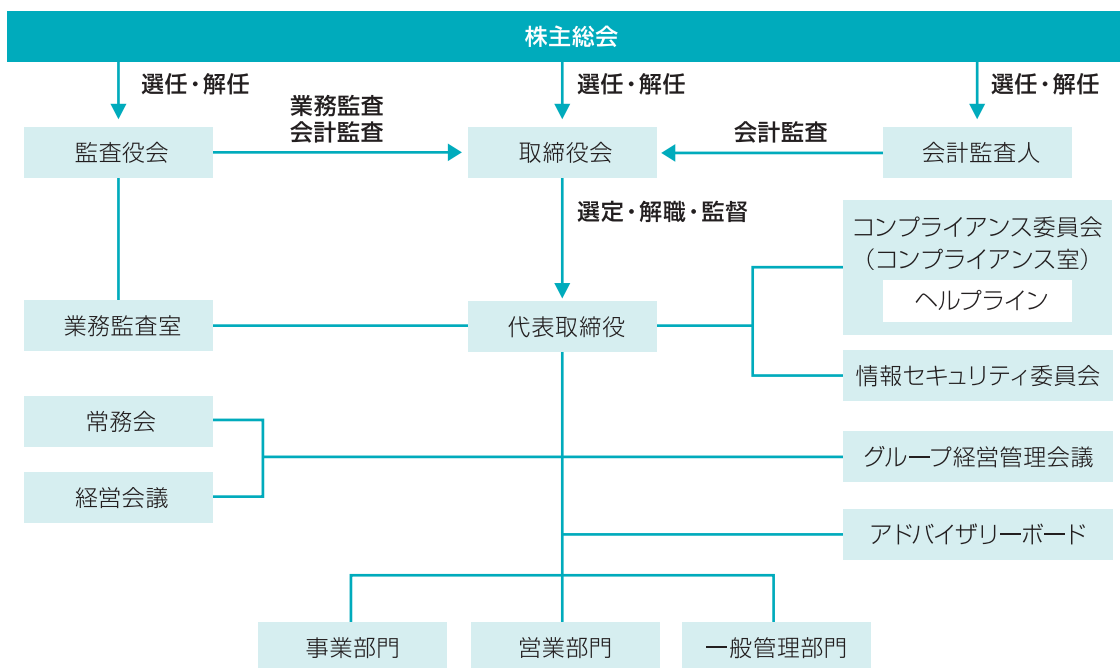
また、コーポレートガバナンスの強化と業務執行の迅速化を図るため、2003年5月より執行役員制度を導入し、定められた業務分担と職務権限の範囲内で各執行役員が責任を持って業務を遂行しています。

内部監査は社内監査部門である業務監査室(4名)が実施し、監査役会とも連携をとりつつ監査計画に基づき、全部門およびコミュニティアグループを対象に監査を実施しています。

監査役監査は、社外監査役2名を含む4名の監査役で構成される監査役会で定めた監査方針および監査計画に沿って、取締役会などの重要な会議への出席、取締役などからの業務執行状況の聴取、重要な書類等の閲覧、事業部、子会社の業務ならびに財産の調査など厳格な監査を実施し、適宜、会計監査人および業務監査室と協議または意見交換を行っています。

さらに取締役、事業部長および監査役が出席する定例常務会を定期的に行い、決算以外の案件について経営上重要な会社の全般的業務執行状況および基本計画ならびに重要な業務の実施などについて提案、報告、衆知討論、意思整合を行っています。

●コーポレートガバナンス体制図



# コンプライアンス

## 活動の POINT

- ・コンプライアンス推進体制を整備し企業倫理の向上に努めています。
- ・さまざまな周知・啓蒙活動に取り組み企業倫理を推進しています。

## コンプライアンス推進体制整備への取り組み

### コンプライアンスの基本的な考え方

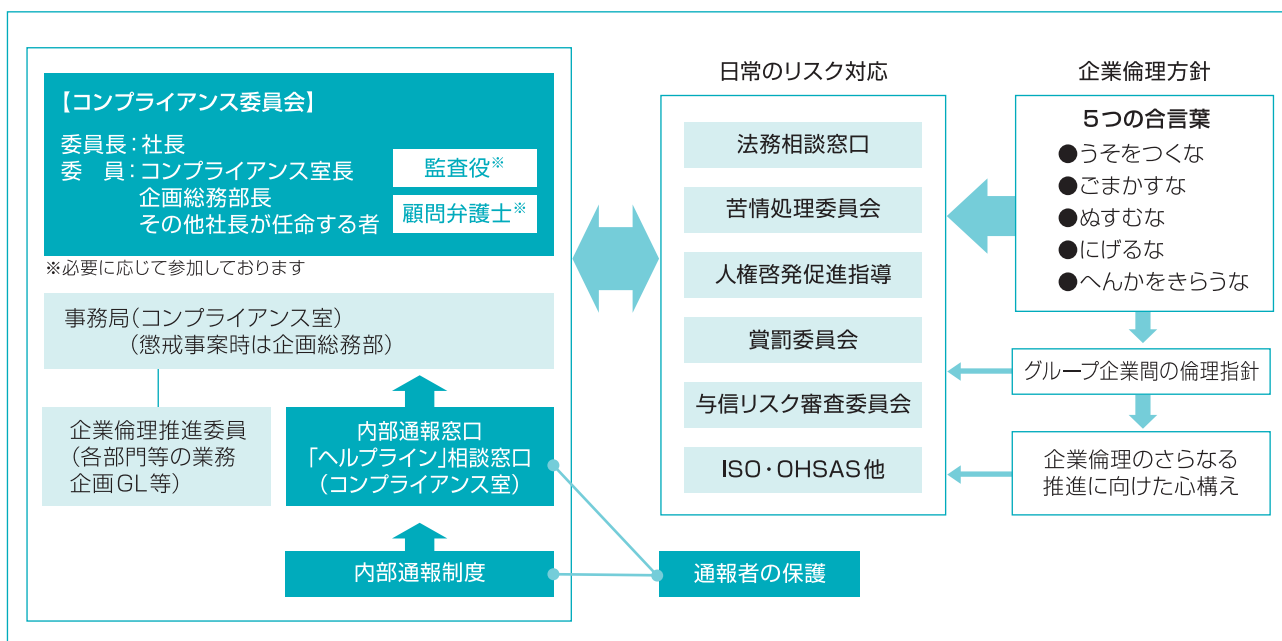
当社は「高い技術と品質を持つグローバル企業として情報通信社会の構築に挑戦し続ける」を経営理念に、従業員一人ひとりが個人の尊厳を確認し、企業倫理の重要性を認識し、当社グループ企業とともに企業倫理の確立を目指しています。

### コンプライアンス室・コンプライアンス委員会の設置とマニュアルの整備・周知・啓蒙

当社では、企業倫理をさらに推進するためコンプライアンス室を設置し、コンプライアンスマニュアルを策定し従業員の行動規範を示すことにより意識の向上を促すなど、さまざまな周知・啓蒙活動に取り組んでいます。

また、社長を委員長とするコンプライアンス委員会を定期的に開催し、教育活動の検討、評価や、潜在リスクの洗い出し、問題に対する対処の検討を行い、企業倫理の向上に努めています。

### ●企業倫理推進体制



## コンプライアンス

### 「ヘルプライン」相談窓口の設置と運営方法の整備

業務を行う際には、国内外を問わず法令、社会的規範および社内規程の遵守が重要です。

法令違反に係わる行為やその他企業倫理に反するものとして「不正・不祥事」を発見した場合、通常の業務遂行上の手段や方法で上司等に相談するのが難しいときに、相談・申告する窓口として「ヘルプライン」相談窓口を設置しています。

「ヘルプライン」相談窓口は匿名による相談も可能であり、相談窓口を通じた事を基に、相談者が会社から不利益な取扱いを受けることは一切ありません。また、守秘義務はいかなる場合でも第一優先されています。

### 全従業員へのコンプライアンス研修の実施

コンプライアンスの研修は、コンプライアンス室が中心となり「コンプライアンス・マニュアル」を活用した研修を実施しています。また、実際に発生した実例を教材としてその対処方法や問題点を考える研修も行っています。

この研修は、当社グループで働く従業員、派遣社員や契約社員などすべての従業員を対象としています。

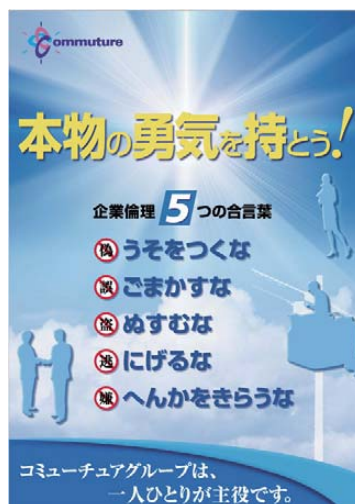
また、外部研修機関が実施している研修にも各現場の責任者を参加させるなど全社的な意識の底上げに努めています。

### グループ企業間の倫理指針の制定『企業倫理5つの合言葉』

企業倫理の確立は従業員一人ひとりの問題であり、従業員一人ひとりの企業倫理感が積み重なって当社グループの企業倫理として成り立っています。

従って、従業員それぞれが常に、公私を問わず高い倫理感を持って行動することが求められています。

日々の業務において、企業倫理のことで何か迷うことがあれば、コンプライアンス・マニュアルを参考にし、それでも迷った場合、「企業倫理の5つの合言葉」と照らしあわせ行動しています。



#### ●企業倫理5つの合言葉

- ・うそをつくな
- ・ごまかすな
- ・めすむな
- ・にげるな
- ・へんかをきらうな

# 統合マネジメントシステム

## 活動の POINT

・2000年に通信建設業界で初めて、労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取得し、「統合マネジメントシステム」として運用しています。

## マネジメントシステムの推進

### はじめに

従業員の安全と健康は、いかなる時代にあっても最優先されるべきものであり、経営トップをはじめ関係者全員が、「安全なくして生産なし」「安全第一」という原点にたち、労働者の安全と健康の確保を最優先とする企業文化を確立し、その定着に向けて最大限の努力を続けていくべきものです。

また、企業の社会的な責任(CSR)の面からも、従業員の安全の確保は、非常に重要であり経営の最重要課題であります。

当社は2000年11月に労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を通信建設業界で初めて認証取得いたしました。

いまでもこそOHSASは当たり前のようにになりましたが、当社は業界初という名に恥じないよう様々な仕組みの完全実施、さらにそれらの改善に取り組み、経営に役立つシステム実現に邁進しています。

さらに、当社グループが一体となり、より効率・効果的にマネジメントシステムを運用するため安全衛生(OHSAS18001)・品質(ISO9001)・環境(ISO14001)のマネジメントシステムを統合し、通信建設業界では初めて「統合マネジメントシステム」として、審査機関であるDNV社(デット・ノルスケ・ベリタス・エーエス)にて認証を取得(2003年12月1日)しました。

### 基本方針、活動

当社は、情報通信に関わるソフトやハードの設計施工及び保守サービスを行うグローバル企業として、国内外に多くの実績を持ち、お客様への製品・サービスの提供をとおり情報通信社会に貢献する中で、「安全の確保を基本に、環境に配慮した企業活動を行い、高品質な製品・サービスを提供し、お客様および社会からの信頼を得る」ことを安全・品質・環境方針として取り組みを推進しています。

さらには、「基本とルールを守り、安全で元気の職場を築きます」を行動指針の一つとして、全従業員に「法令・作業手順」等、基本的な事項を遵守することを意識付けています。

また、統合マネジメントシステムを推進する組織「コマンドー」を当社、子会社ならびに協力会社の安全品質担当責任者で構成し、OHSAS&ISOの情報及び緊急を要する情報などを、正確かつ確実に伝達しています。

さらにマネジメントシステムに関わる運用上のコミュニケーション、階層別の教育・訓練などから発生する従業員、現場作業者の声を当社マネジメントシステムに反映させる「ボトムアップ活動」を実施しています。

上記活動を通じ、安全衛生のパフォーマンスを、PDCAサイクルにより継続的に維持し、更なる改善に結びつけています。

# マネジメントシステム

## マネジメントシステム

コミュニューチャグループでは、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS)をはじめ、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)の認証を取得

し、統合マネジメントシステムとして取り組んでいます。

また、情報管理においては、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の認証を取得し、積極的に取り組んでいます。

### OHSAS18001

労働安全衛生リスクを低減し、従業員が安心して従事できる職場環境をめざします。また、地域の皆様にも安心・安全な環境を提供します。

※北海道支店を除く



### ISO9001

顧客満足の向上をめざし、高品質な製品、サービスを提供します。

※北海道支店を除く



### ISO14001

情報通信ネットワークの構築によりCO2排出削減に貢献します。

緑化推進活動等に積極的に参加し、自然環境の保全に努めるとともに健全な地球環境を次世代に引き継ぎます。

※北海道支店を除く



### ISO27001

情報技術の発展に伴い発生するリスクを低減することにより、お客様、及び、当社の情報資産を守ります。

※東海・沖縄・北海道支店、営業所、工事センタを除く



# 情報セキュリティマネジメントシステム

## 活動の POINT

・個人情報取扱マニュアルを定め、その取得や利用などをルール化し、高い意識で個人情報の適正な管理に取り組んでいます。

### 個人情報保護規程の策定

2005年4月1日から施行された「個人情報の保護に関する法律」に対応するため、「個人情報保護規程」「個人情報取扱マニュアル」の規程を定め、個人情報の取得や利用など取扱いをルール化し、個人情報の適正な管理に取り組んでいます。

また、ホームページ上にて、「個人情報保護ポリシー」を掲載するとともに、「個人情報相談窓口」についても周知させています。

#### ●個人情報保護ポリシー

株式会社コムチュアは個人情報保護の重要性を認識し、以下の個人情報保護ポリシーを定め、全従業員に周知徹底を図り個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の安全管理について
2. 個人情報の適切な収集について
3. 個人情報の適切な利用について
4. 安全対策の実施について
5. 委託先の適切な指導・管理について
6. お客様の権利の尊重について
7. 法令・その他規範等の遵守について

<http://www.commuture.com/security/policy.htm>

#### ●個人情報相談窓口の設置をホームページに掲載



### 個人情報保護に関する社内周知サイトの設立による意識向上

個人情報の重要性や正確な知識・認識を持つ意識を醸成するために、「コムチュアグループ個人情報保護インフォメーションページ」をポータルサイト内に開設し意識の向上に努めています。



### グループ会社個人情報内部監査の実施

個人情報保護に対する認識を高め、流出事故を防止するためにはグループとして取り組む必要があることから、業務監査室とコンプライアンス室が連携して、各グループ会社の個人情報の管理状況を調査し、指導および履行確認を行っています。

### 全従業員への個人情報保護研修の実施

個人情報保護に対する研修は、毎年従業員を対象に実施しています。個人情報を取扱ううえでの注意点や重要性、誰もが加害者または被害者になる可能性があること、日常からできる対策などを事例も交え啓蒙しています。今後も繰り返しの意識付けを行っていきます。



# お客様とともに [品質]

## 活動の POINT

- ・「現場の声」を中心に物品・材料・工法を開発し、安全性、工事品質の向上に取り組んでいます。
- ・携帯端末を用いた独自システム(スマートシステム)により品質の向上を実現しています。

### 施工時の利用物品開発による作業効率の向上および品質確保

現場からの提案(社内提案)や現場作業者の意見を基本とした『現場の声』を中心に物品・材料・工法を開発します。

これらの開発により、現場の作業効率や安全性、工事品質の向上に寄与します。

#### 開発物品例

2m柱上作業足場を改良し作業性を大幅に向上させました。

(愛称)  
とど  
百々君だ

#### 分割式軽量2m柱上作業足場の改良点

##### ①重い(17kg)⇒軽量化(12.8kg)

- 2人で取り付け ⇒ 1人で取り付けが可能。
- 本体吊下げ用の工具、金車が不要になり、手間と取り付け時間が削減。
- 操作性が向上。

#### 市販品の取り付け時間

項番	作業内容	作業時間
1	電柱固定金具取り付け	45秒
2	金車取り付け	50秒
3	本体引き上げ(2人)	25秒
4	本体、固定金具取り付け	120秒
	合計	240秒

#### 開発品の取り付け時間

項番	作業内容	作業時間
1	電柱固定金具取り付け	15秒
2	不要	0秒
3	本体引き上げ(1人)	10秒
4	本体、固定金具取り付け	35秒
	合計	60秒

##### ②長い⇒2分割構造に改良(大・小それぞれ単独使用可能)

- 車両への積載、収納が容易。【軽車両への積載も可能!!】
- 取り出しはもちろん、1人で楽に持ち運びができます。

##### ③取り付けにくい⇒取り付けに工具を使用しない

- 電柱固定金具がチェーン式 ⇒ ベルト式で取り付けが簡単。
- 配管(φ25以下)設置箇所でも取り付け可能。(防犯灯などの配管)
- 電柱固定金具は上下どちらでも取り付け可能。(向きがない)

##### ④高価である⇒材質・部材を見直し、コストダウン

- 本開発品は、分割方式のため施工現場に合わせて1台で3役(大中小)を兼ね、大変使い勝手の良い商品です。

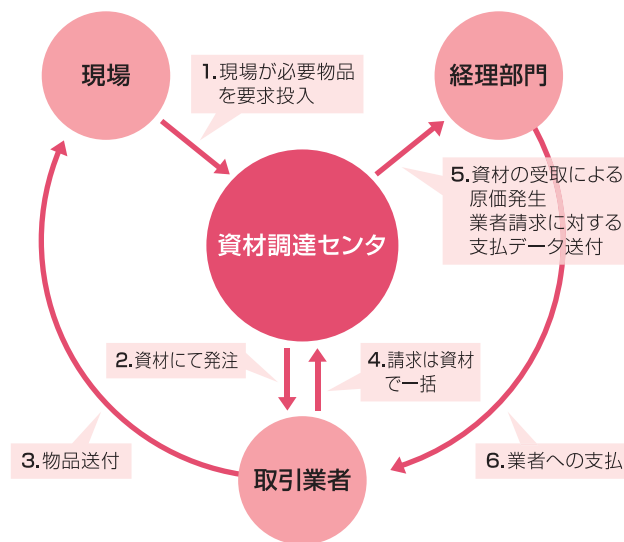


2m取り付け状態



収納状況

### 施工資材の全社購入による資材品質の担保



#### 資材調達センター

- 現場は直接、業者と取引をしない。
- 現場は資材調達センターに要求し、資材調達センターが要求に対応して一元にて調達、購買処理を行う。
- 資材調達センターにて一元的に購入対応することで、使用材料の使用元情報の確保、材料品質を確保している。

### 有資格者による設計、施工、最終検査の実施

当社では業務活動(特に安全、品質に影響を与える)を遂行するために必要な能力基準を明確にしています。

能力基準には経験年数や資格(国家資格、顧客認定資格)を設定しています。

その基準を満足する者(有資格者)が設計、施工、検査を実施することにより安全で高品質な製品、サービスをお客様に提供しています。





## お客様とともに [品質]

### スマートシステムを活用した写真自主検査による工事品質の向上

当社では2007年3月に品質保証センタを設立し、品質向上に取り組んできました。スマートシステムの活用により、タイムリーな指導による技術力の向上や、リアルタイムでの確認による品質検査の効率化、標準化、施工効率の向上を実現しています。

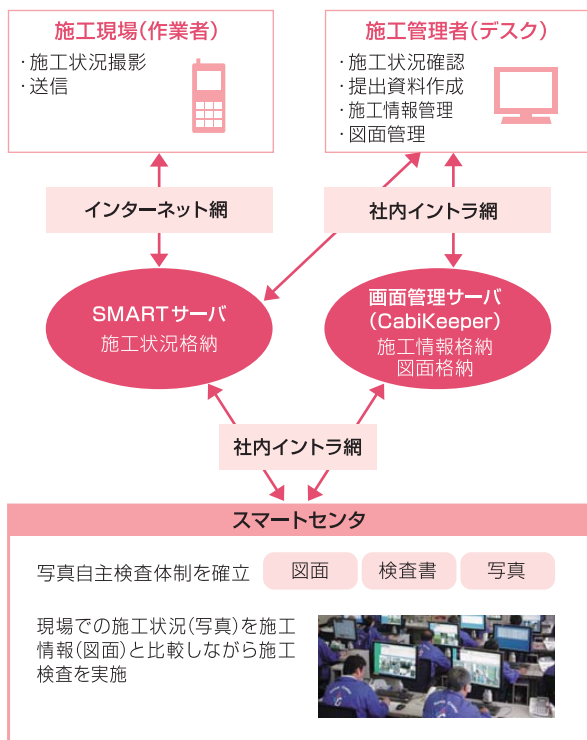
#### スマートシステム【Simple Mobile Camera System】

携帯端末を使ってインターネット網を経由し、施工現場とセンタ側とのデータ（記録写真）をリアルタイム化し、データ管理を簡素化したシステム

#### スマートシステムの特徴

- サーバ内で写真の自動管理ができ、検索が簡易。  
(協会社別、班別、管理番号別、設備区別…)
- インデックス情報を事前登録し、現場端末で情報の取り込みが可能。
- 未送信データを一括で送信可能。
- 提出書類の自動作成。
- デジタルカメラ画像の取り込みも可能。

#### ●スマートシステムの概要図



#### 2010年度の取り組み

さらなる品質向上を目指し、仕組みと運用を見直しました。KAIZEN推進本部配下の品質保証センタで実施しているスマートシステムを使った写真検査(自主検査)業務を施工部門に移管し、施工現場と自主検査機関の一体化を図り、さらなる効率化、品質向上を図りました。

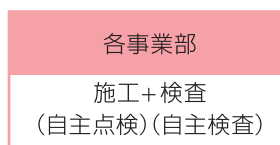
#### 【変更前】



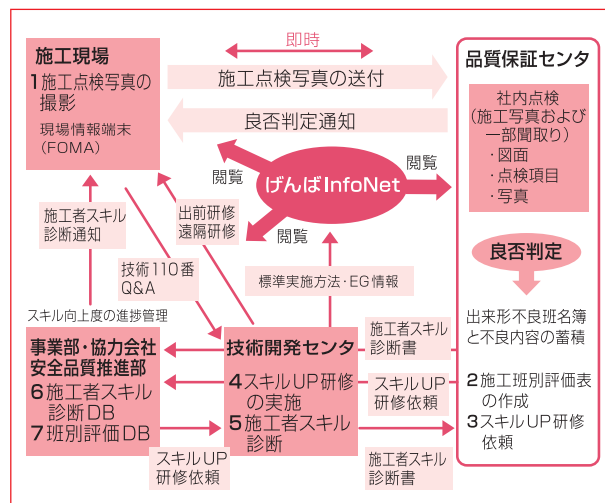
仕組みと運用の見直し

#### 【変更後】

- 施工と自主検査機関の事業部内での一体的運用により、さらなる品質向上と効率化
- 責任の所在を明確化
- 相互のスキルアップ体制の強化



#### ●施工品質強化サイクル





# お客様とともに [コミュニケーション]

## 活動の POINT

・各種フォーラムに参加・出展し、お客様との交流を行っています。

### 西日本ICTフォーラム2010への参加

2010年9月15日(水)～9月16日(木)の両日、大阪市中央区のマイドームおおさかで開催された「西日本ICTフォーラム2010」に出展いたしました。

本展示会は関連企業や団体が情報通信を支えるさまざまな技術を紹介するイベントであり、今回は86社の企業が出展、約1,600名が来場するなど、関連業界における技術交流の場となっています。

当社ではKAIZEN活動の一環として開発した、昇降機転落防止機具を効率的かつ安全に掛けることができる「楽楽

アクセスポール」を出展するとともに、屋外設置用WiFiベースステーション「Wavion」などのICTソリューションも出展、多くの方々と意見交流を行うことができました。



西日本ICTフォーラム2010出展状況

### つくばフォーラム2010への出展

2010年10月20日(水)～10月21日(木)の両日、茨城県つくば市にて開催された「つくばフォーラム2010」に出展いたしました。

つくばフォーラムは、電気通信関連の企業や団体が最新の通信技術や物品などを出展する業界最大規模の展示会です。2010年は「人を結ぶ、信頼をつなぐ アクセスネットワーク」をテーマとして開催され、123社による出展がなされ、約10,700名が来場されました。

当社は屋内・外のブースにて合計15点を展出し、屋外会場では「楽楽アクセスポール」をはじめ、当社が開発した持ち運びが容易であり1人で取り付けが可能な「分割式軽量2m柱上作業足場」を出展しました。また、弊社のKAIZEN活動への取り組みに関する技術交流ミニセミナーを実施し、多く

の方にご参加頂きました。

屋内会場では無線系ソリューションやシステム開発ツールなどのICTソリューションを出展、来場者より活用方法などたくさんのご意見を頂くことができました。



技術交流セミナー



屋外ブース



屋内ブース

### ブロードバンドソリューションフェア2010への出展

2010年11月18日(木)、NTTコミュニケーションズ(株)様主催の「ブロードバンドソリューションフェア2010」に参加いたしました。

当日は、NTTコミュニケーションズ(株)様をはじめとする24社の企業より、映像系・音声系ソリューションや工事や保守サービスまで幅広いソリューションが展示されました。

当社からは映像ソリューションの「IP-TV」や無線系ソリューション、遠隔監視ソリューション、センサーソリュー

ションなど、多種多様なICTソリューションを出展し、多くの方にお越し頂きました。



ブロードバンドソリューションフェア2010出展状況



# お客様とともに [安全]

## 活動の POINT

- ・各種取り組みにより安全を推進しています。
- ・スマートシステムを活用した各種安全施策を実施しています。

### 全社安全大会(年1回)、安全対策推進委員会(月次)の開催

#### 全社安全大会(年1回)

2010年6月3日に西日本、6月10日に東日本にて全社安全大会『安全大会2010』を開催しました。

安全大会では、社長講話、外部講師による安全講話、KAIZEN・事故防止・品質確保の取り組みについて功績のあった優良協力会社、優良施工プロジェクト、優良施工グループに対し社長表彰を行いました。

また、2010年よりVoiceNKY競技を実施しました。施工班を代表して、15班が競技を行い、日ごろ実施しているVoiceNKYの成果が現場さながらに行われ、日ごろの安全への取り組み成果が発揮されました。



社長表彰

#### 安全対策推進委員会(月次)

毎月、安全対策推進委員会を開催し、事故情報の共有および討議ならびに安全施策の見直し・改善提案、リスク管理方法の討議等を行い、事故(人身、設備、交通)防止に努めています。



安全対策推進委員会

### FOMAを活用した安全活動

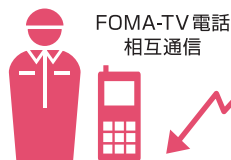
「バケットに安全ロープを取り付けたところを写してください。次に、バケットからの状況、保安設備の設置状況を写してください。」……「はい、どちらも問題ないですね。」

パソコンの画面と向かい合い、ヘッドセットで会話しながら指示を出しているのは、品質保証センタの安全専任者です。会話の相手は、現場作業班の班長で、NTTドコモの3G携帯電話「FOMA」のテレビ電話機能を利用して、センタ側からリアルタイムに現場の保安状況をチェックしています。

当社は品質向上と効率化を目的に2005年10月にモバイル・コンピューティングを活用したスマートシステム(Simple Mobile cAmeRa sysTem)「設備記録写真管理システム」を開発し、2006年4月に品質保証センタを立ち上げ、2007年7月には安全品質管理本部内(現KAIZEN推進本部)に品質保証部を設置し、その管轄組織として運用をスタートさせました。

テレビ電話を使った現場の安全チェックはスマートシステムで行なう作業の一つで外線・接続班を対象に実施しています。宅内班については現場で撮影した安全対策写真を独自に開発したiアプリを使ってスマートセンタに送信します。送信された写真をセンタ側が確認し、その判定結果をフィードバックし安全向上に寄与するシステムとして運用しています。

#### 施工現場



安全専任者の指示に従い、安全保安設備の状況を撮影

#### 安全専任者



モニタリング  
・現場に撮影箇所等依頼  
・リアルタイムに確認、対話



## お客様とともに [安全]

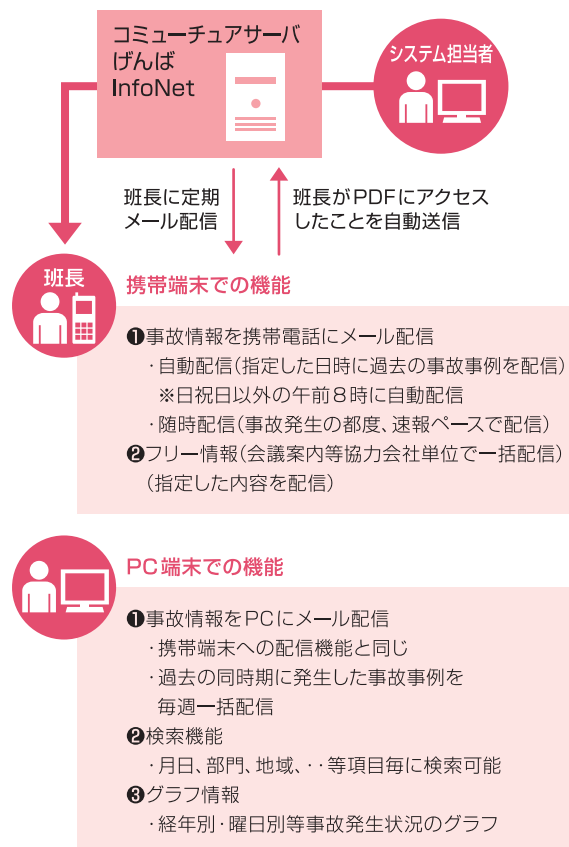
### e-安全カレンダー

当社はシステムの独自開発により、2006年10月より社内システム「げんばInfoNet」に蓄積されている過去の事故事例を日毎に現場の班長等の携帯電話、PCに自動配信し、事故の風化防止策として取り組んでいます。

また、事故速報については、早く現場に伝える必要があるため現場代理人は勿論、作業班長の携帯電話へもこのシステムを利用し一括送信・周知しています。

また、各種情報周知も同様に現場代理人、班長、管理者等、送信対象者をグループ分けしており、必要なところに漏れなく伝達しています。

情報伝達確認、業務への反映状況をFOMA-TV電話による安全確認時に、班長への問い掛けをしてその浸透度を確認しています。





# お客様とともに [セキュリティ]

## 活動の POINT

- ・情報セキュリティマネジメントシステムに基づき、情報の管理・監視を実施しています。
- ・重要な技術情報の機密性を確保し、リアルタイムな閲覧を可能にする技術情報閲覧システムを導入しています。

## 情報セキュリティ委員会(月次)の開催

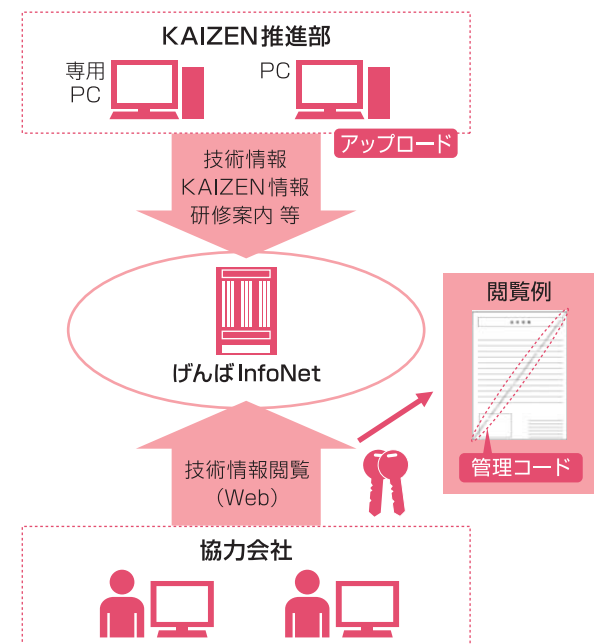
情報セキュリティ委員会において、情報セキュリティマネジメントシステムに関する予防、問題解決の検討、決定した事項、および施策実施状況を審議・承認し、当社だけでなくお客様のシステムやデータ等の情報資産をあらゆる脅威から保護し、情報セキュリティを継続的に維持、改善することに努めています。

## 機密文書への地紋印刷の実施による情報漏えい管理(げんば InfoNet)

### げんば InfoNetによる技術情報閲覧

技術情報のリアルタイムな閲覧を可能にするため、技術情報閲覧システム(げんば InfoNet)を導入しています。

技術情報等の機密文書の情報漏えい管理として、閲覧文書に管理コードが入り個人の特定制が可能。また、げんば InfoNet ブラウザーでの印刷ボタンを無効化(印刷不可)し、印刷が必要な場合は、必要事項記入後、コンテンツ内から印刷をするシステムを導入(印刷文書に管理コードを印字、印刷者と印刷文書を管理)し、印刷文書の定期的な追跡管理を行っています。



げんば InfoNet では、重要な技術情報の機密性が守られています!

## ネットワーク監視によるソフトウェア管理の実施

お客様情報(個人・企業)を保護するため、ネットワーク監視ソフトを導入し内部からの情報流出および外部からの攻撃の対策を行っています。ネットワーク監視ソフトを活用し PC 単位での監視・管理が可能となり、高度なセキュリティを保っています。

また、問題の発生状況・対応・改善策について月1回セキュリティ委員会へ報告を行うことにより、全社で対応できる体制を整えています。

### 1.不正PC接続監視

許可されていないPCの社内ネットワークへの接続を禁止しています。接続された場合、管理者へアラームを通知し、接続できないよう制御しています。

### 2.禁止ソフト管理

WinnyなどのP2P系禁止ソフトのインストール・使用を監視しています。また、許可されていないソフトのインストールについても監視しています。

禁止ソフトの使用が検知された場合、管理者へ通知し報告・対応を実施しています。

### 3.ウイルス対策ソフト管理

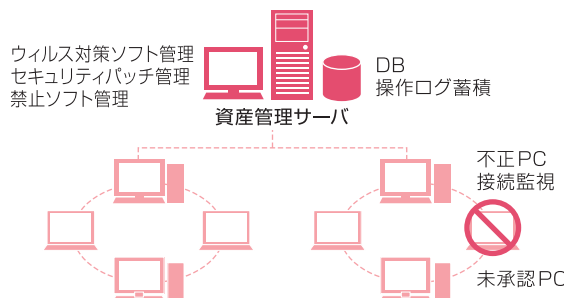
ウイルス対策ソフトのバージョン・パターンファイルの自動更新を行い、常に最新の状態を保つよう管理しています。ウイルス検知状況については、管理者によるチェックを実施し適切な対応を行うよう監視しています。

### 4.セキュリティパッチ管理

Windows Updateの未適用パッチ、緊急度の高いパッチの自動適用を実施し、常に最新の状態を保つよう管理しています。

### 5.ログ管理

操作ログ(ファイル操作・デバイス使用状況等)を取得することにより、不正に対する抑止効果を生じ、情報漏洩のリスクを減らします。ログ管理機能により、もしもの場合でも管理者による追跡調査を実施します。





## お客様とともに [セキュリティ]

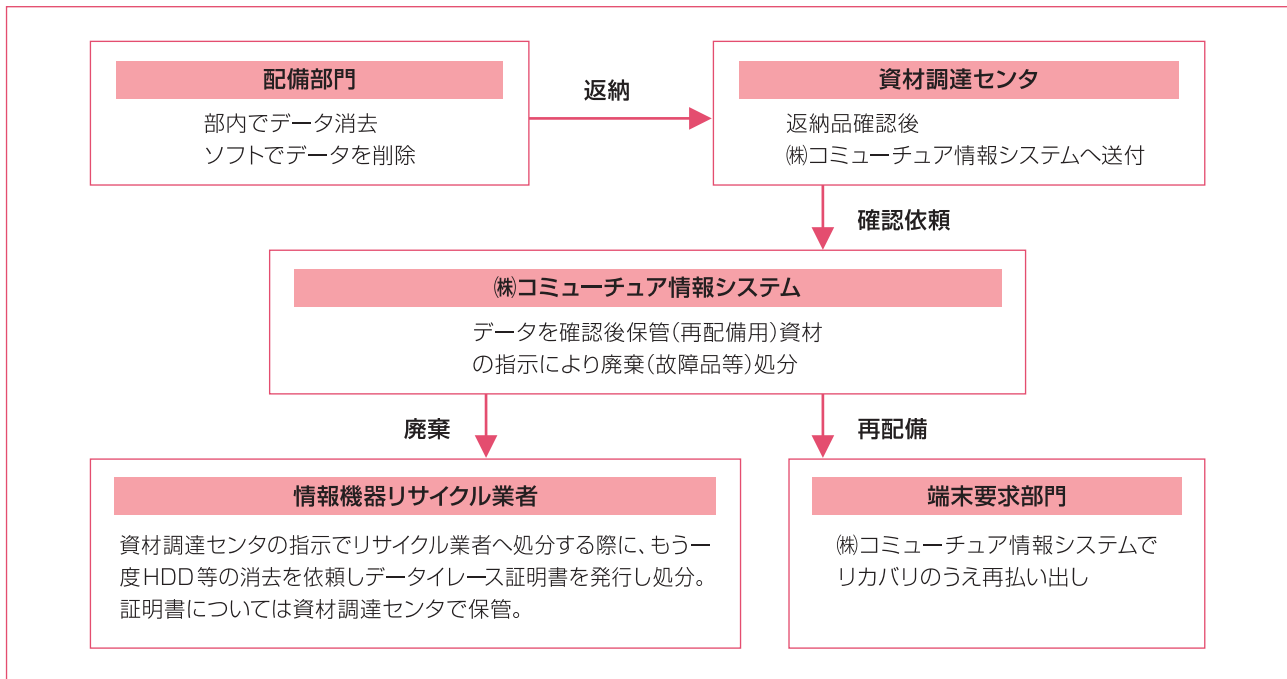
### 使用終了情報機器の情報セキュリティ対応

当社で使用するパソコン等の情報機器は、調達から廃棄まで徹底した管理体制の下で使用されています。

すべて資材調達センタを通じて調達され、ソフトウェア等使用環境の設定は(株)コミュニチュア情報システムにてセットアップを行い、社内使用条件に適合した機器としたうえで使用部門に届けられます。

社内で使用される情報機器の使用環境は一元的に管理され、使用終了時においても機器内のデータ、システム、設定等を完全に消去した上で、再利用保管品と廃棄処分品に分けられます。廃棄処分品は廃棄業者にてデータイレース作業を行い、証明書を発行することにより、データの完全削除の担保を取っています。

#### ●情報機器端末取り扱いのフロー図(参考)





## お客様とともに [CS活動]

### 活動の POINT

・お客様満足度向上のため、様々な活動を実施しています。

### CS活動(CS向上プロジェクト)

NTT東日本事業本部では、『すべてのお客様からのご要望をしっかりと受け止め、「ありがとう」という言葉を頂けるようなサービスマンになり、ハイレベルな品質とサービスを提供することにより、業界のCS№1を継続できる集団になる。』を目標とした『CS向上プロジェクト』によりCS向上リーダーの育成を行うとともに、継続的なCS向上に取り組んでいます。CS向上には、組織的な取り組みはもちろんのこと、組織を構成する従業員一人ひとりの活動も重要であることから、CS向上リーダーを中心に、グループ従業員全員がお客様のご要望をしっかりと受け止め、CS向上に向けてすべきことを理解し考え、それぞれの活動に取り組んでいます。

CS向上リーダーは、施策をしっかりと社内に根付かせ、積極的に水平展開していく役割を担っています。

### 現場におけるお客様対応への取り組み

兵庫事業部では、お客様満足度向上のため、「お客様確認シート」を作成し施工班のCSレベルアップに取り組んでいます。

「お客様確認シート」は宅内作業完了時、お客様ご自身に工事結果を評価頂く用紙です。

「お客様確認シート」を活用することにより、作業完了後その場で工事の評価を頂くことにより、行った工事 お客様の目にどのように映ったのかが解り作業者の意識向上につながっています。

また、技術センタでは「お客様確認シート」の分析を行い、施工班の長所・弱点等を把握し、他班への水平展開や再発防止、また必要な訓練・研修を行い全体的なレベルアップに取り組んでいます。



CS向上リーダー研修



現場指導研修

# 協力会社とともに

## 活動の POINT

- ・社内技術育成を確立しグループ全体として技能伝承、品質、技能向上に取り組んでいます。
- ・情報連絡会を開催しより一層のコミュニケーションを図り現場力向上に取り組んでいます。

## 施工技術研修の開催

施工技術研修は年間研修計画を基に各事業部と連携を図り、施工技術者の育成、情報配線施工の担い手として人材育成を図るものです。

協力会社を含むすべての従業員を対象に社内育成を確立し、技能伝承および品質、技能向上に取り組んでいます。

### ①年間計画研修

新入社員、NTT資格、工事担任者、ビジネスフォン、PCセットアップ、映像技術等

### ②多能工育成研修

生産性向上のための多能工の育成

### ③セル生産方式研修

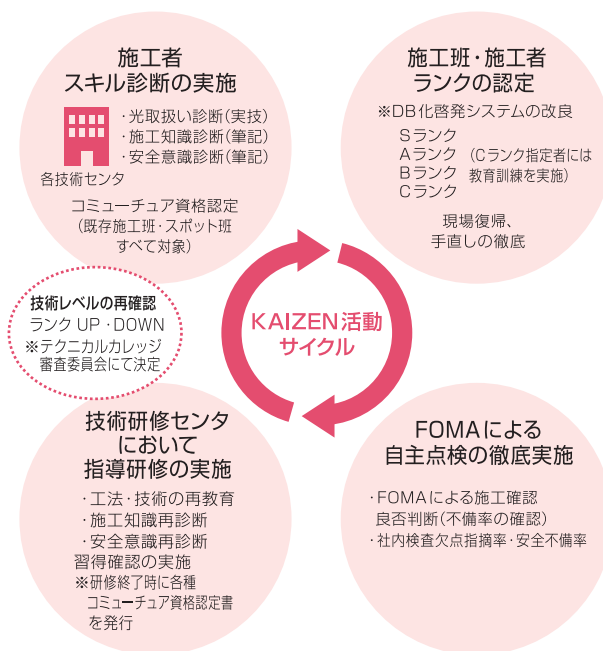
セル生産方式に向けての設計・施工技術者の育成(オールマイティ者の育成研修)

### ④メタル技術研修

構造・接続・対照・試験・切替技術までのレガシー系技術伝承(メタル切替～保守まで)

### ⑤スポット班・施工不良班研修

事業部要請に基づく品質不良班、スポット班の事前研修(事業部依頼研修)



座学



屋外実習



屋内実習

## コミュニチュアテクニカルカレッジ

※コミュニチュアテクニカルカレッジとは施工品質向上運動の指導と育成を行う集団であり、NTT西日本事業本部の各事業部、技術センタ、品質保証センタ核要員、KAIZEN推進本部の安全品質推進部、KAIZEN推進部の要員で構成しています。

指導者の育成

問題点の共有化

- ①技術力の向上と工法等勉強会の実施運営
- ②技術者の育成実施

各技術センタのトレーニングコーナーの設置





## 協力会社とともに

### トレーニングコーナーの設置

NTT西日本事業本部とKAIZEN推進部の合同により、日々技術向上の場として、訓練・練習を行えるスペースの整備を図るため、各技術センタにトレーニングコーナー(技術研修室)の設置を行っています。技術研修室には、施工サンプルを展示しており確認したい箇所、勉強したい箇所がいつでも確認でき、工事前・工事終了後などの空いた時間に各技術センタで研修・訓練が行えます。技術研修室は、作業班同士が日常的に切磋琢磨する場となり、技術力(品質)の向上につながっています。今後は月間MVPの選出や社内技能成果発表会等を開催し施工班の意識・意欲向上に取り組んでいきます。



大阪中央技術センタトレーニングコーナー

### 情報連絡会の開催

当社は、協力会社との信頼関係の構築、経営環境や課題等の共有、施工技術者の育成、安全・品質・CSへの取り組み、当社グループへの期待・要望などについて、問題解決を図るため、定期的(四半期単位)に情報連絡会を開催しています。情報連絡会では、当社の作業に従事して頂いている協力会社社長様と当社経営幹部との意見交換を行い、より一層のコミュニケーションを図ることにより当社グループの現場力向上に努めています。



情報連絡会模様



# 従業員とともに [雇用・人事処遇]

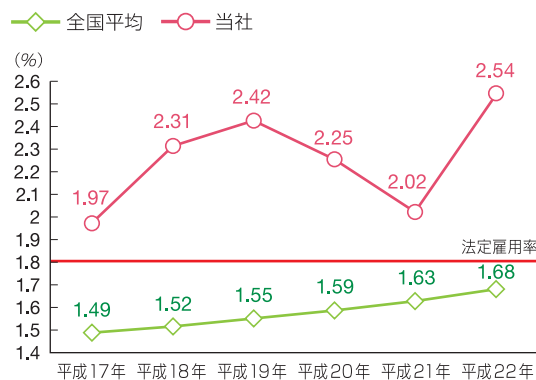
## 活動の POINT

- ・公正な人材採用を実施し、個性の尊重と能力を最大限に発揮できる組織風土づくりを推進しています。
- ・各種制度を導入し、働きがいのある職場環境づくりをしています。

### 公正な人材採用の実施

障がいの有無、国籍、性別などではなく、従業員一人ひとりの個性の尊重と持てる能力を最大限に発揮できる組織風土づくりを推進し、多様な人材の採用や登用を行い、従業員一人ひとりがお互いを認め受入れる環境を支援しています。

#### ●障がい者雇用率の推移(各年6月1日現在)



### ライフプラン研修の実施

従業員が仕事、人生の節目を迎えるにあたり、人生のネクストステージに向かって、あるべき仕事への取り組み姿勢を確認するとともに、退職金、年金、健康管理等の基礎知識の習得を手助けし、スムーズな移行とより充実した生涯生活設計の実現するための支援として、定年退職後のライフプランおよび資産運用や健康管理についてのセミナーを実施しています。

### キャリアチェンジ・ステップアップ制度について

当社ではさまざまな雇用形態の従業員が一体となり事業を推進し、グループ発展に欠かせない核となる人材の育成確保に力を注いでいます。働きやすい職場環境づくり、従業員満足度の推進の一つとして派遣社員、短期間雇用者、グループ会社社員等を社員登用する制度を導入しています。

### 高齢雇用継続の実施

急速な少子高齢化の進展に伴い、今後の労働人口の減少が見込まれるなかで、高い就労意欲を有する高齢者が知識・経験を活かし社会の支え手として活躍し続けること、年金支給開始年齢まで、意欲と能力のある限り働き続けることができる制度として、ネクストステージプラン制度を導入し、豊富な経験と専門知識、技術を有する従業員を定年後(60歳)も本人の希望および一定の基準を満たした際に、再雇用を実施しています。



# 従業員とともに [ワークライフバランス]

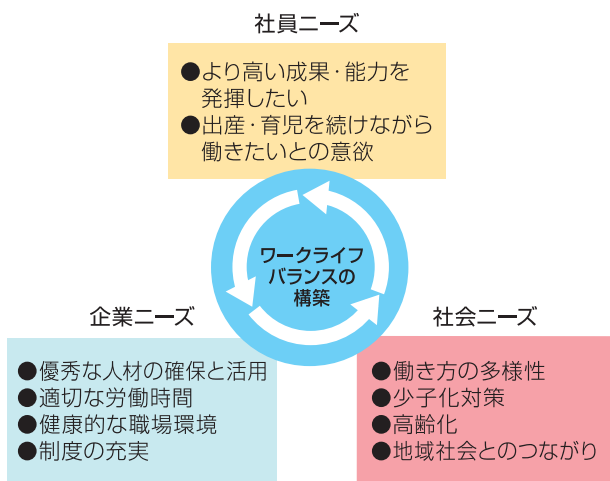
## 活動の POINT

・従業員一人ひとりが安心して良い仕事を長く続けられる環境整備に取り組んでいます。

### ワークライフバランスを踏まえた 施策の実施

仕事とプライベートのバランスを見直し、従業員一人ひとりが仕事へのやりがいや誇りを感じながら、安心して良い仕事を長く続けられる環境整備に取り組んでいます。

出産や育児および介護や看護のための制度充実を図り、従業員が持てる能力を最大限に発揮できるよう、メリハリのある多様な働き方を支援しています。



### 余暇充実を図る自社保養所、会員制リゾートホテル

当社グループ従業員の皆様に余暇を楽しんで頂く一環として、自社保養施設および会員制リゾートクラブ「ザ グランリゾート」に加入しています。施設の空き情報の確認から申し込みまで社内イントラネットにて簡単に操作が可能であり2010年度は約1,400名の従業員・ご家族の方にご利用頂きました。



社内イントラネット画面

### ライフプランメニューの充実した「福利厚生倶楽部」加入

次世代育成も踏まえ、健康・福祉・介護・育児支援等の生活支援サービスや余暇支援サービスのさらなる充実を図るため、2010年より「福利厚生倶楽部」へ加入しました。

個々のライフスタイルに合わせた利用が行われ、初年度は1,700名を超える従業員・ご家族の方にご利用頂きました。



# 従業員とともに [人材育成]

## 活動の POINT

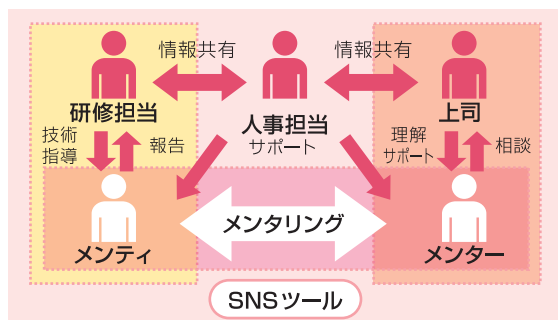
・階層・資質別教育や技術専門教育の研修体系や各種制度により、企業の発展を支える人材の育成に取り組んでいます。

### 人材育成および従業員満足度の向上

高度資格や、特殊能力、高い専門能力により、業績向上に著しい貢献を果たしている一般職従業員を対象とした処遇制度の導入や、能力の向上、生産性への寄与と働き甲斐を実感できる昇給システムへの見直しを図るなど人事諸制度の改定を実施することにより、従業員満足度の向上を推進しています。

従業員を側面的に支援する「メンター制度」の充実では、知識・技術の指導だけでなく公私にわたり身近な助言・指導を行い、環境への適応力を高めて「人材」としての成長を促進するシステムにしています。メンターとなる従業員に対しても適切な指導を行うための研修を実施することにより、後輩・部下への育成力や指導力等のマネジメントを学ばせる相乗プログラムとして効果を上げています。

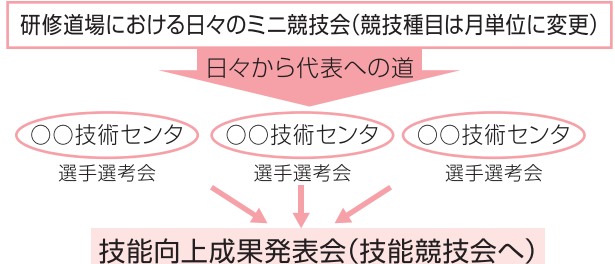
#### ●メンター制度システム



### 社内技能大会の実施および全国大会への参加

#### 技能向上成果発表会から技能競技会(No1)へ

- ①NTT東西事業本部・KAIZEN推進本部合同技能向上成果発表会を通じて、NTT東西事業本部各センタ全体の施工品質、安全、技術力向上と各事業部・各センタ・技術者のネットワークを構築しています。
- ②各技術センタの競争意識を高めて技術力・品質向上を図っています。
- ③各技術センタで技術向上(毎日)を行う中で、選手間での良い所を取り入れています。(まねっこ)



### 新入社員から経営幹部への階層・資質別教育および技術専門教育の実施

事業・経営環境などが変化していく中で、企業の永続的発展を支える人材の環境適応能力を高めていくことが求められます。当社では人材育成にあたり経営管理者が経営資源である人を育て、戦力化し、業績を上げる使命を持つとともに、従業員が自ら成長するという意識・行動があることを基本にしています。教育研修制度としては、新入社員から経営幹部にかけての階層別・資質別に求められる能力などを習得する研修と技術・技能の習得といった専門領域の能力を高める研修体系を持っています。

一例として階層・資質別教育では、新入社員・初級社員は、ビジネスに求められる知識・技術・行動の基本を身につけるとともに、求められる存在価値の高い人材像に向かって自らチャレンジするプロ人材を目指して取り組んでいます。また、次世代の中核となりうる人材層には役割機能を革新し戦略力・実行力を高めるコース、経営財務の分析、マーケティング、判断・意思決定などを体得するコース、社会的責任・危機管理能力を高めるコースなど総合能力を養成しています。一方、技術・技能系の専門教育では自社の技術研修センタにおいて、基礎技術、専門技術、新技術、各種スキルアップ、各種資格試験対策などのコースを設けて協力会社の従業員を含めてレベルアップに取り組んでいます。

また、外部教育機関を通しての技術・専門教育や選抜型での次世代リーダー・経営幹部等の育成を図っていくコースにも従業員を派遣し人材育成に努めています。

#### 新入社員導入研修

- ・安全衛生教育
- ・人権・コンプライアンス研修
- ・ITリテラシー研修
- ・IT基礎研修
- ・基礎訓練等

新入社員研修 (マナー教育、基礎訓練)

#### 階層別研修

- ・メンター教育・新任管理職研修
- ・新任管理職フォローアップ研修
- ・経営職研修
- ・現場代理人研修
- ・子会社総務部長・監査役研修

経営職研修

#### 技術・技能研修 通信教育

技術研修



## 従業員とともに [人権]

### 活動の POINT

- ・「人権を尊重する企業」として人権啓発に取り組んでいます。
- ・コンプライアンスマニュアルで趣旨徹底を図っています。

### 人権に対する取り組み

#### 人権への取り組みの基本姿勢

当社グループは、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」とする世界人権宣言(第1条)の主旨に則り、人権を大切にす企業として人権啓発の推進および一人ひとりの人権を尊重した企業経営を行っています。

従業員は人権を尊重し、いかなる差別的行為も許さない、明るい職場環境づくりを心がけています。

#### 「コンプライアンス・マニュアル」で趣旨徹底

「コンプライアンス・マニュアル」に“人権尊重”を明記し、当社グループ全体で、人権尊重の精神を尊重した企業活動に取り組んでいます。

また、人種、国籍、民族、性別、宗教、身体的・精神的障害などの差別の禁止を明文化しています。

#### 相談体制の整備と職場環境の改善

「人権相談窓口」、「ヘルプライン相談窓口(内部通報窓口)」を設置し、人権・セクシャルハラスメントに配慮し対応します。

さらに、各部門・グループ会社の企業倫理推進委員とも連携し、スピーディーな取り組み、対応を目指しています。

#### さまざまな人権啓発活動に取り組んでいます

当社グループは、「大阪市企業人権推進協議会」「東京都人権啓発センター」等の会員企業として、「人権を尊重する企業」を目指し、さまざまな差別の解消に努めています。

社内では、同和問題やセクシャルハラスメント、パワーハラスメントを中心に研修を実施し、社外人権セミナーにも積極的に参加しています。

#### セクシャルハラスメント防止強化

当社では、当初から「コンプライアンス・マニュアル」において、セクシャルハラスメントを禁止する旨を明示しています。

職場でのセクシャルハラスメントは、労働者の人権や権利を侵害し職場の秩序を乱すものです。また、会社の社会的評価にも影響する重大な問題です。このことから、「職場におけるセクシャルハラスメントの防止について」を制定しています。

さらに、就業規則においても、セクシャルハラスメントを禁止しています。

#### イントラネットでの周知

当社グループの社内イントラネットにおいて、各種マニュアル等を公開し、周知徹底しています。



## 従業員とともに [コミュニケーション]

### 活動の POINT

- ・社内システムを利用し、社長自らがブログを開設し、従業員と双方向のコミュニケーションを図っております。

### 社長のブログ「日々通心」の開設

当社では社内システムを利用し、社長自らがブログを開設し、従業員と双方向のコミュニケーションを図っています。ブログ名の「通心」は、当社の主たる事業である「通信」とかけて、このブログが従業員と「心の通じる場」になって欲しいと願い命名しました。

ブログを通して、日常の色々な出来事や会社の状況をタイムリーに提供しています。

高江洲 文雄の ひびつうしん  
**日々通心**





# 地域社会とともに [事業を通しての社会貢献]

## 活動の POINT

- ・事業活動を通じて、災害時における復旧支援活動に取り組んでいます。
- ・東日本大震災においては、災害復旧班を編成し被災地にて復旧支援を行っています。

## 災害復旧支援活動

ますます高度化・多様化するブロードバンドサービスを支える通信インフラは、私たちの生活においてなくてはならないライフラインとなっています。

当社グループでは、地震や洪水などの大規模災害が発生した際には通信網の速やかな復旧と通信の確保のため、迅速に対応できる体制やマニュアルを整えています。

## 東日本大震災の災害復旧支援活動

当社グループでは震災発生直後、災害対策本部を立ち上げ、翌日より応急復旧作業を行いました。

通信事業者様からの支援要請に基づき特設公衆電話の設置や固定通信設備、移動体通信基地局等の通信設備の修理・修復に向けたさまざまな復旧支援活動を行っています。人員、延べ2,543人(平成23年5月20日時点)、関西からは災害復旧班(延べ1,023人:平成23年5月20日時点)を

編成し被災地にて通信設備の復旧支援に従事しています。

また、震災後の被災地へ生活必需品の搬送や社内で義援金の募集を行い、ミライトホールディングスが取りまとめ、日本赤十字社を通じ寄付を実施いたしました。

今後とも、当社グループは復興に向けて、全力で貢献してまいります。

2011.3.12

柏技術センターによる応急復旧対応  
(応急復旧状況)



2011.3.28

関西からの災害復旧班が敦賀港より  
岩手県上閉伊郡大槌町に向けて出発

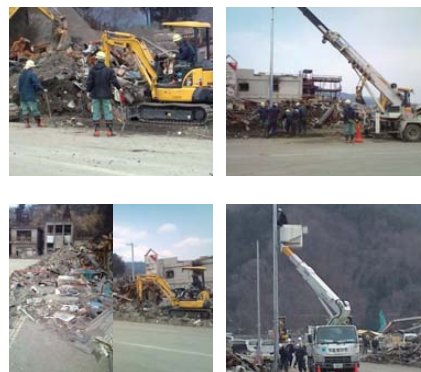


2011.3.18

大阪本社より、水、即席麺、電池やマスクなど  
約5トンの生活必需品を東北地方へ搬送  
(企画総務部等による積込)



大槌町での復旧作業状況





# 地域社会とともに [社会貢献活動]

## 活動の POINT

・地域社会との共生を目指し、様々な取り組みや交流を行い共に暮らしやすい環境作りを行っています。

### こども110番の事業所

コミュニチュアの本社(所在地:大阪市西区)は、地域の子どもたちの安全を守るために大阪府が推進する「こども110番」運動に賛同し、2007年10月からグループ従業員が一丸となって協力を開始しています。「こども110番」とは、登下校時などに、子どもたちが誘拐やいたずらなどのトラブルに巻き込まれる事件が多発している状況を背景として、地域で子どもたちを守り、安心して暮らせる環境を確保するために、各地で行われるようになった取り組みです。

大阪府では、地域の協力を得て、住宅や店舗を子どもが緊急時に駆け込んで助けを求めることのできる避難所とする「こども110番の家」や、企業の営業用車両等を避難所とする「動くこども110番」の運動を推進しています。



グループの工事車両 130 台を「動くこども110番」の協力車両として活用。

当社は、CSR活動として地域と一体となった社会貢献活動を推進している中、大阪府のこの運動に賛同しています。

こども110番の家	動くこども110番
<p>子どもの学習室に備えられたパソコンに電話機を接続し、緊急時に電話が通じ、救急車を呼ぶことができる。また、地域の子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するために「こども110番」運動を推進しています。</p>	<p>「こども110番」事業所として、トラックに警用灯を付けたり、子どもたちの安全を守るために活用しています。また、地域の子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するために「こども110番」運動を推進しています。</p>
<p>こども110番の家 110番の家</p>	<p>動くこども110番 110番の家</p>
声かけるこども110番	学ぶこども110番
<p>地域の子どもたちが、コミュニチュア本社から、子どもの安全を確保します。</p>	<p>子どもたちに「こども110番」の役割や、110番の家、110番の家から自分自身の安全を守る方法を伝えます。</p>
<p>声かけるこども110番 110番の家</p>	<p>学ぶこども110番 110番の家</p>

### AEDの設置

当社では従業員やお客様、地域社会でご活用頂く為、本社玄関にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。

AED(自動体外式除細動器)の使用が2004年7月に専門家以外にも開放された事に伴い、毎年社内で開催している救命講習内にてAEDの操作指導を行っています。

消防庁によれば「企業でも従業員の三割が受講していれば、万が一の時にかなりの確率でその場に受講者が居合わせる環境をつくれる」とされている事により、本社に勤務する社員の3割(100名)を受講目標とし、2010年度末では計90名の従業員の受講が修了しています。

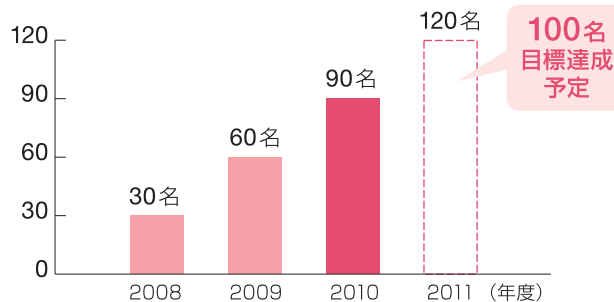


本社本館正面玄関



救命講習

#### ●本社における修了者数の推移





## 地域社会とともに [社会貢献活動]

### 目黒川クリーンアップ大作戦

2010年7月7日、目黒川河畔遊歩道周辺の清掃活動「目黒川クリーンアップ大作戦」が行われ、地域貢献活動として参加しました。今回は今年2回目の活動となり、当社からは12名が参加し、空き缶・空き瓶やタバコのポイ捨て等のゴミ収集活動を行いました。

12月8日、目黒川河畔遊歩道周辺の清掃活動「目黒川クリーンアップ大作戦」(主催:目黒川を豊かな生活環境にする会 共催:目黒区 土木工事課)が行なわれ当社からは12名が参加しました。



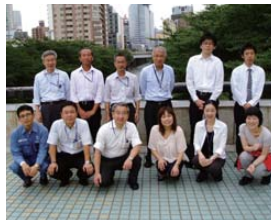
活動風景



活動風景



参加頂いた皆さん



### クリーンアップ奈良キャンペーン

「親切・美化奈良県民運動推進協議会」他の主催で、2010年9月5日午前8時30分から奈良県全域20コースで開催され、約15,690人の方が参加されました。

統合MSの一環と地域に根付いた活動を目的に今回初めて参加しました。

地元の企業や高校生、家族連れなど約680人の参加者と一緒に近鉄橿原神宮前駅中央出口から橿原神宮内苑までのコースのゴミ拾いを行いました。



参加頂いた皆さん



活動風景

### 本社周辺清掃活動

「地域貢献を形にしよう」と2009年1月より有志が集って、毎月第3水曜日の午前8:00から約30分間大阪本社本館、別館それぞれの1ブロック(あみだ池筋まで)を清掃しています。当初は5名のスタートでしたが徐々に浸透し多い月は10名におよぶ参加者が集まるほどになりました。

地域の方々に感謝の言葉、ねぎらいの言葉を頂戴することもあり就業前の朝のひとときすがすがしい気持ちで清掃しています。

今後は参加者が増え、複数日を清掃できるよう目指していきます。



清掃風景





# 環境マネジメント

## 活動の POINT

- ・環境マネジメントシステムを導入し、環境負荷の低減に努めています。
- ・毎月の環境対策推進委員会において、環境保全活動の計画を行い、環境への影響の低減、環境保全に努めています。

### 環境マネジメントシステム (ISO14001)の推進

情報通信ネットワークの構築によりCO<sub>2</sub>排出削減に貢献します。

緑化推進活動等に積極的に参加し、自然環境の保全に努めるとともに健全な地球環境を次世代に引き継ぎます。

※北海道支店を除く



### 環境対策推進委員会(月次)

毎月、環境対策推進委員会を開催し、環境マネジメントシステム情報ならびに、環境側面調査等の聴取、討議および環境保全施策の見直し・改善提案、環境側面管理方法の討議、著しい環境側面を決定し、環境保全活動の計画等を行い、環境への影響の低減、環境保全に努めています。



# 資源の有効利用

## 活動の POINT

- ・産業廃棄物削減の取り組みを推進しています。

### 産業廃棄物削減

資材調達センターでは産業廃棄物の削減の取り組みとして、工事用材料のダンボールの削減、梱包の資材の見直し、ケーブルドラムの再利用の推進などの取り組みを取引先業者と共同して取り組んでいます。

梱包内容を見直し、段ボールを**22%**削減。



梱包内容を見直し、段ボールを**75%**削減。



梱包内容を見直し、段ボールを**100%**削減。





# 地球温暖化防止

## 活動の POINT

・地球温暖化防止の取り組みを展開し、太陽光発電設備の設置や電気駆動方式高所作業車の導入などを進めています。

### 兵庫東技術センタ竣工

2010年8月に完成した当社新技術センタは、太陽光発電・緑化・省エネといった設備を導入し、環境に配慮した社屋になっています。当センタは、拠点の集約だけでなく、技術開発センタも入居し訓練施設が併設されています。

#### 環境に配慮した設備

##### 太陽光発電設備

180Wの太陽電池パネルを168枚使用し、30kWの出力を得ることができます。年間発電量は、約29,200kWhを見込んでいます。

年間の二酸化炭素削減量は約40.37t、森林CO<sub>2</sub>吸収効果面積の換算では年間約29,039m<sup>2</sup>(サッカーコート4面分、甲子園球場のグラウンド2.2面分)に相当します。

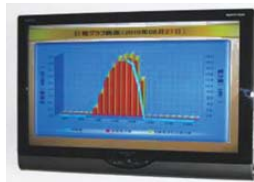
エントランスに発電電力表示装置をつけることにより、従業員の環境意識向上につながっています。



太陽電池パネルと屋上緑化



発電電力表示装置



発電量計測モニタ

##### 緑化設備

社屋屋上に462m<sup>2</sup>、駐車場に662m<sup>2</sup>、道路隣接部分に315m<sup>2</sup>、合計1,439m<sup>2</sup>の緑化設備を導入しました。社屋に緑化設備を導入することにより、断熱性の向上効果を得ることができます。

社屋に太陽光発電設備、緑化設備をともに導入している事例は少なく、先進的な建物となりました。



屋上緑化



緑化された駐車場

### 電気駆動方式の高所作業車の導入

当社では、環境への取り組みの一環として、以前から作業時の騒音が少なく、CO<sub>2</sub>の排出量が大幅に削減できるバッテリー駆動式のバケット車を2010年9月に試験導入しました。このバケット車は、走行時は従来のエンジンを使用しますが、高所作業時には、動力源として従来のエンジンとバッテリーのどちらかを選択できるようになっています。万が一バッテリーが切れても、エンジンに切り替えることができるため、バッテリー切れの心配もありません。関西の通信建設会社では初の導入となります。

#### ●バッテリー駆動式バケット車のメリット

##### 環境に優しい

バッテリーを動力源として装置部を駆動させているので、高所作業時の排気ガスの発生は全くありません。一日あたりのCO<sub>2</sub>の排出量も大幅に削減できます。

##### 低騒音

閑静な住宅地での作業や夜間作業において、近隣に対し騒音を発生させることなく作業ができます。

##### ランニングコストの低減

年間の燃料コストを35～73%削減できます。また、日々のメンテナンスは「精製水」の確認・補充程度で、エンジン部に関わるメンテナンス費用が大幅に削減でき、工数およびコストが大幅に低減されます。

	CO <sub>2</sub> 排出量	騒音	燃料コスト
バッテリー駆動式	4.0kg/日	58dB (日常会話レベル)	41,000～ 89,000円/年
従来型	9.5kg/日	74dB (地下鉄車内の騒音レベル)	174,000円/年



バッテリーユニット



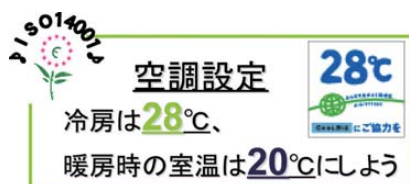
バッテリー駆動式バケット車



## 地球温暖化防止

### チーム・マイナス6%(チャレンジ25キャンペーン)運動の推進

コミュニティグループは2005年発行の「京都議定書」に基づき、開始された「チーム・マイナス6%」運動に2006年5月より参加し、2010年からは「チーム・マイナス6%」より生まれ変わった「チャレンジ25キャンペーン」に引き続き参加しています。



チーム・マイナス6%



チャレンジ25

### クールビズの推進

夏季に摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するように呼びかけたキャンペーンを行っています。なお、2011年度のクールビズは、3月11日の東日本大震災に伴い、5月より10月の6ヶ月間実施します。





# 森林保全

## 活動の POINT

- ・統合マネジメントシステムにより環境活動に取り組んでいます。
- ・環境保全の取り組みの一環として、森林保全活動に取り組んでいます。

## コミュニチュア「緑の会」

コミュニチュア「緑の会」では、年2回緑化推進活動として、各部・協力会社に参加者を募り、(財)大阪みどりのトラスト協会の里山保全活動にボランティア参加しています。2010年度の第1回は7月10日、「歌垣の森保全活動」で、栗の苗木の下草刈りを行い、第2回は11月6日「蕎原の森保全活動」で、人工林の伐採や下草刈りを行いました。従来から協会や地元ボランティアの方が定期的に里山保全活動されており、当社はこれからも活動に参加して応援していきます。

### COLUMN

### 自然環境保全活動で感謝状を頂きました

コミュニチュア「緑の会」では、2003年11月より、毎年2回緑化推進活動として、(財)大阪みどりのトラスト協会の里山保全活動に参加しています。このたび、大阪府内の貴重な自然環境を保全する活動に多年にわたり尽力した功績により、2010年8月18日に(財)大阪みどりのトラスト協会から感謝状を授与されました。



## 「緑の募金」および「緑の地球防衛基金」への参加

当社グループは自然環境の保全に努める活動の取り組みとして「緑の募金」を春(4月)秋(10月)実施しています。集まった募金は、森林や里山の保全活動、地域の緑化に役立つように(社)国土緑化推進機構、(財)大阪みどりのトラスト協会へ寄付しています。

また、「緑の募金」と合わせて「緑の地球防衛基金」活動を実施し、使用済みテレフォンカードや切手などを収集したものを、(財)緑の地球防衛基金に送付し、業者を通じて内外のコレクターに販売した売り上げは、中国、タンザニア、キリマンジャロでの植林活動に役立てられています。

## 活動の様子

### 2010年7月10日

大阪府能勢町歌垣山の麓は日本固有の蝶のギフチョウやキマダラルリツバメという珍しい蝶がいます。この蝶の生息環境を守るため、(財)大阪みどりのトラスト協会が栗園を管理しています。今回は、昨年植えた苗木の周囲や栗園の草刈りを行いました。



### 2010年11月6日

蕎原の森では、台風の影響で多数倒木が発生した森を里山として復旧するため、風倒木の整理、雑木林の除伐、人工林の間伐、植栽および保育のための下草刈りなどの森林整備を行っています。秋空の下、直径15cm～20cm、高さ10m前後の木を10数本切倒し、枝払いを行い、約1.5m程度に切り分ける作業や杭打ち作業を行いました。



## 環境貢献型検索サービス「緑のgoo」への参加

当社グループは統合マネジメントシステムにより環境活動に取り組んでおり、そのなかの社会貢献活動の一環として「緑のgoo」の企業パートナープログラムに参画しています。「緑のgoo」は検索すれば、無料で地球環境保護に貢献できる「goo」のポータルサイトで、収入の一部を、地球温暖化対策などの環境保護活動を行うNGO、NPO団体に寄付し、活動を支援するプログラムです。

「緑のgoo」を検索して、一層の環境貢献ができるよう、これからも活動に参加し応援していきます。

「緑のgoo」の詳細は

 <http://www.goo.ne.jp/green/>



# グリーン調達

## 活動の POINT

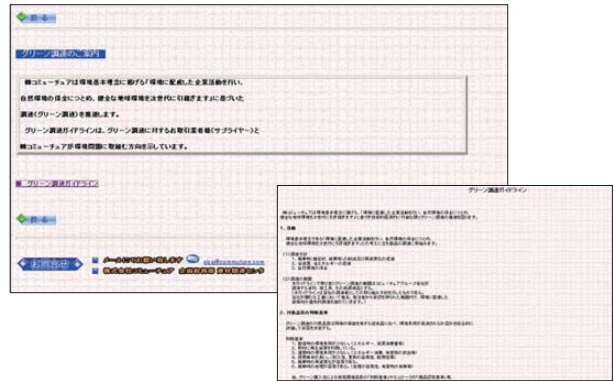
・グリーン調達ガイドラインを設けて環境に配慮した資材調達を推進しています。

### グリーン調達

当社は環境基本理念に掲げる「環境に配慮した企業活動を行い、自然環境の保全につとめ、健全な地球環境を次世代に引継ぎます」に基づいた調達(グリーン調達)を推進するとともに、グリーン調達ガイドラインを設け、環境に配慮した調達を推進しています。

グリーン調達ガイドラインは、グリーン調達に対する取引先(サプライヤー)と当社が環境問題に取り組む方向を示しており、当社資材調達センタでは、取引先(サプライヤー)との間でグリーン調達に取り組んでいます。

当社購買システム(資材システム)のトップページにグリーン調達に関連する案内を掲載し、環境に配慮した資材調達を推進しています。



購買システム(資材システム)トップページにグリーン調達に関するページを掲載



活動の  
POINT

・持続可能な社会の実現に向け環境事業を推進しています。

アスベスト除去工事への取り組み

より安全なアスベスト除去工法で社会に貢献します

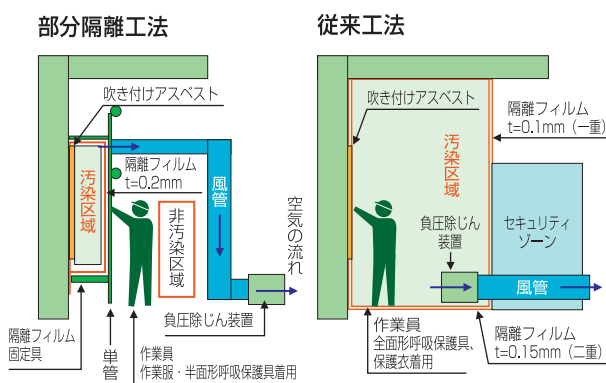
当社の連結子会社である(株)環境エンジニアリング・リサーチ(現(株)グランドクリエイト)は、これまで人体や環境に悪影響をおよぼすアスベスト除去に積極的に取り組み、2009年には12社の正会員と約50社におよぶ賛助会員からなる「一般社団法人部分隔離協会」を設立しました。

部分隔離協会は、アスベスト除去に従事する作業者の健康被害を防止し、局所的な隔離方法である部分隔離工法の普及を図ることで従事者の安全衛生、生産性向上、環境保護など、社会に貢献することを目的としています。

部分隔離工法とはアスベストの除去部分周辺を特殊フィルムで隔離し、内部を負圧状態にすることにより外部へのアスベスト飛散を防ぎ、また作業者への健康被害を防止する環境・人体に優しいアスベスト除去工法です。

当社グループは1998年より環境ビジネスに取り組み、

2007年7月には、吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術として「アスクリア工法」の建設技術証明を(財)日本建設センターより取得しています。過去に培った技術力・ノウハウを活かしながら、部分隔離によるアスベスト除去にも精力的に取り組んでいます。



太陽光発電システム

2011年2月、宗教法人「生長の家」宇治別格本山に、発電容量100kwの太陽光発電システムを設置する工事を完了しました。

今後も、当社は持続可能な社会の実現に向け、太陽光発電システムだけでなくLED照明、電気自動車、スマートグリッド等の環境事業を促進し、地球に優しいグリーン化社会を目指す各企業様に、新エネルギーや省エネルギーを企画から設置、運用、保守までトータル的にご提案します。



宇治別格本山入龍宮幽斎殿(京都府宇治市)

●今回納入した太陽光発電システムの概要と効果

発電出力	100kW
設置パネル枚数	400枚(250Wパネル)
設置面積	約700m <sup>2</sup>
効果	太陽電池モジュールで発電した直流電力は、パワーコンディショナで交流電力に変換され、建物内の空調、照明などの電力として使用されます。余剰電力は逆潮流し、電力会社に売電可能です。 今回導入した太陽光発電システムは、年間100,193kWhの発電電力量が予想され、年間二酸化炭素削減量は約44t、森林が吸収する面積に換算すると約120,000m <sup>2</sup> となります。



MIRAIT GROUP



株式会社 コミュニチュア



大阪本社

〒550-0002

大阪市西区江戸堀3-3-15

TEL 06-6446-3331 FAX 06-6459-2411

東京本社

〒135-8113

東京都江東区豊洲5-6-36

TEL 03-5496-8410 FAX 03-5560-1378

<http://www.commuture.com/>